



# 学校だより



丹波篠山市草ノ上 108 TEL558-0116 fax558-0260 令和7年 6 月号 No.3

## 続けた先に

校長 安井健二

6月になりました。先日娘のところで飼っている愛犬「あずき」が帰ってきました。久しぶりでしたが覚えているものです。見た瞬間に飛びつき、「ペロペロペロ！」かわいいものです。夜暗くなってからあずきと一緒に散歩をしていると、「ゲロゲロゲロ」とカエルの大合唱が聞こえてきました。声を合っているのか、それとも久しぶりに丹波篠山へ帰ってきて聞いたカエルの鳴き声が怖かったのか、「ワンワンワン！」自然が残る丹波篠山の6月の昔ながらの光景にほっこりした気分になりました。

さて、大相撲5月場所が5月25日に終わりました、大関大の里が圧倒的な強さで二場所連続優勝し、新入幕後最短で横綱へ昇進しました。素晴らしいことです。きっと、その陰に隠された努力の賜物だと思います。

ある新聞記事に、そうした華々しい相撲人生とは少し違った相撲人生を送り、そして33年にも及ぶ相撲人生の幕を静かに下ろした力士の記事が載っていました。長い相撲人生に幕を下ろしたのは、序ノ口二四枚目で48歳の「澤勇」です。初土俵は平成4年7月場所だそうです。相撲界では社会現象にもなった「若貴フィーバー」に日本中が沸いていた頃です。

澤勇もきっと大きな夢を描いていたはずですが、しかし、最高位は序二段五三枚目でした。相撲は番付による厳しい世界だと聞きます。澤勇も年々、若い力士に追い越され、焦りも、悔しさもきっとあったことだと思います。

しかし、そんな状況でも、毎日稽古に励んで、厳しい勝負の世界に33年も身を置き、最後の勝負は寄り切りで敗れ、32歳年下で16歳の行事からさがりを受け取り、大きく肩で息をした澤勇の気持ちを考えると計り知れません。「充実感」「安堵感」「悔しさ」なのでしょうか？それを感じられるのは、いくつもの試練を越え、越えるための努力をし、また試練を乗り越えてきた澤勇だけなのかもしれません。私などはまだまだです。

東の花道を下がっていく澤勇に一人の観客が花束を渡しました。花束を大事そうに抱えて目頭を押さえた視線の先には弟弟子の姿があり拍手で迎えられたそうです。きっと、澤勇の相撲だけではなく、「澤勇智和」という人を見続けてきた人たちでしょう。

「頑張り続ける」ってことは自分を育て、人を感動させます。

「多紀っ子」も興味・関心のあることに取り組み、努力し、頑張り続け、その先にあるものを探して欲しいと思います。

私たちは、その頑張りを応援し、ちょっと支え、一緒に感動できる存在でありたいものです。がんばれ「多紀っ子！！」

## 5年生田植えをしました



5月26日（月）、5年生が田植えをしました。

田んぼに入り、田植えをする前に、まずは抜けなくなった足を引き抜くのに精一杯。そして、その勢いで倒れそうになるのを何とかこらえながら、教えてもらったように一苗一苗植えていきました。

ゴールデンウィーク中も、5年生に代わって苗の世話をしてくださった栗野さんのおかげで、無事、田植えを行うことができました。

また、この日は保護者の方も参加してくださり、一緒に汗していただきました。ご協力ありがとうございました。

私が着任した4月以降、たくさんのたき地域の方々が学校、そして多紀っ子の応援団になってくださっています。

感謝しかありません。これからも、どうぞよろしく願います。

## プール掃除お世話になりました

5月28日（水）、保護者の方、そして本校とパートナーシップを結んで日頃からご協力いただいているネッツトヨタ神戸株式会社の方の協力を得て、全校生でプール掃除を行いました。およそ1年間にたまったゴミや泥の量は半端なく、匂いもなかなかのもので、児童たちは、「ヌルヌルで気持ち悪い!」「臭い!」と言いながらも、手を止めず一生懸命掃除をしてくれました。当日は日差しがきつく暑かったので、汗を流して頑張ってくれる子どもたちの様子を見て、うれしい反面、頑張り過ぎを心配するくらいでした。

掃除が終わった後のプールは、最初のゴミと泥がきれいになくなり、見違えるプールになりました。6/16のプール開きが待ち遠しいです。

ご協力いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



## 熱中症予防バスの運行について

今年度も丹波篠山市の熱中症予防の取組として、遠距離を徒歩で下校する児童を対象に借上バスの活用が行われます。対象児童、及びバス運行期間は以下の通りです。

- 1 対象児童：細工所、向井、井串、山田、下笹見、上笹見地区の児童
- 2 運行期間：7月1日（火）～7月18日（金）  
9月1日（月）～9月30日（火）